

平泉文化セミナー第79回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第79回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演題

中国漢代の陵墓石刻

山東大学考古学院助理研究員

付 龍騰 氏

要 旨：

霍去病の墓は、墓を飾るために大きな石彫を使用する最も古い例であり、これは後漢以降に徐々に普及した祭祀の先駆けである。一方で、霍去病墓の石彫は形式、空間構成、意匠に特殊性があり、後世の石彫体系とはあまり関係がない。同時に、霍去病墓の石彫に代表される芸術様式は、後世の地域文化の不可欠な一部となった。後漢時代、墓所への石彫は次第に盛んになり、石彫の定型化、空間パタンの形成、五つの区画の形成、すべての階層への浸透、が特徴となった。後漢末期の政治情勢との関連で分析すれば、これらの石彫は、地方勢力が権力を誇示するための流行とみなすことができる。

令和6年11月28日（木）13：00～14：30

岩手大学教育学部1号館2階 E21講義室

※事前の申し込みは不要です。（今回は、Zoomによる配信はいたしません。）

※中国語による講演となりますが、日本語への通訳があります。

- ・参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が37.5度以上の場合は入場をお断りする場合があります。

【連絡先】

〒020-8550

岩手大学平泉文化研究センター事務局

盛岡市上田三丁目18-33

Fax 019-621-6529

E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp